



青い森のみちづくり

2020版

青 森 県

はじめに

青森県を取り巻く社会経済環境は、人口減少と少子化、労働力不足、2025年に訪れる超高齢化時代、グローバル化の更なる進展など、大きく変化しています。また、道路行政に求められるニーズは年々多様化し、これに呼応するきめ細やかな施策の展開が求められています。

このような状況の下、県が平成30年12月に策定した青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦において掲げた、2030年までにめざす姿である「生活創造社会」の実現に向け、道路課では、「経済を回す」ための基盤づくりを担う幹線道路ネットワーク整備促進、安心して快適に暮らせる生活環境づくりを担う歩道整備及び流・融雪溝をはじめとする雪対策、災害に強い地域づくりを担う斜面の防災対策及び橋梁の耐震性確保等を推進します。さらには安全・安心な県土づくりを進めるため、既存ストックの計画的な維持管理と更新を進めます。

人口減少社会にあっても、県民の誰もが、この青森の地で安心して暮らしていくことができる持続可能な地域づくりを着実に進めていくためには、「生業」と「生活」が循環する「経済を回す」仕組みづくりが重要です。このめざす姿の実現に向かって青い森のみちづくりを進めていきます。

● 2030年のめざす姿の具体像

「生業（なりわい）」と「生活」が好循環する地域へ ～世界が認める「青森ブランド」の確立～

このめざす姿が想定する2030年の青森県の具体像について、分野別に例示すると次のようになります。

産業・雇用分野



本県と国内外とをつなぐ交通・物流ネットワークの拡大を生かし、青森県産品の販路拡大や「あおり発」の製品開発、観光産業が「経済を回す」けん引役として外貨の獲得をめざすとともに、新たな「しごと」が数多く創出されていること。

安全・安心、健康分野



県民の命と暮らしを守ることを最優先にした様々な災害や危機への対策がなされ安全・安心で快適に暮らすことができるとともに、若者が結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられる環境づくりと健康・長生きで活動的に暮らしていくために支え合い、共に生きる仕組みづくりの推進をめざすこと。

環境分野

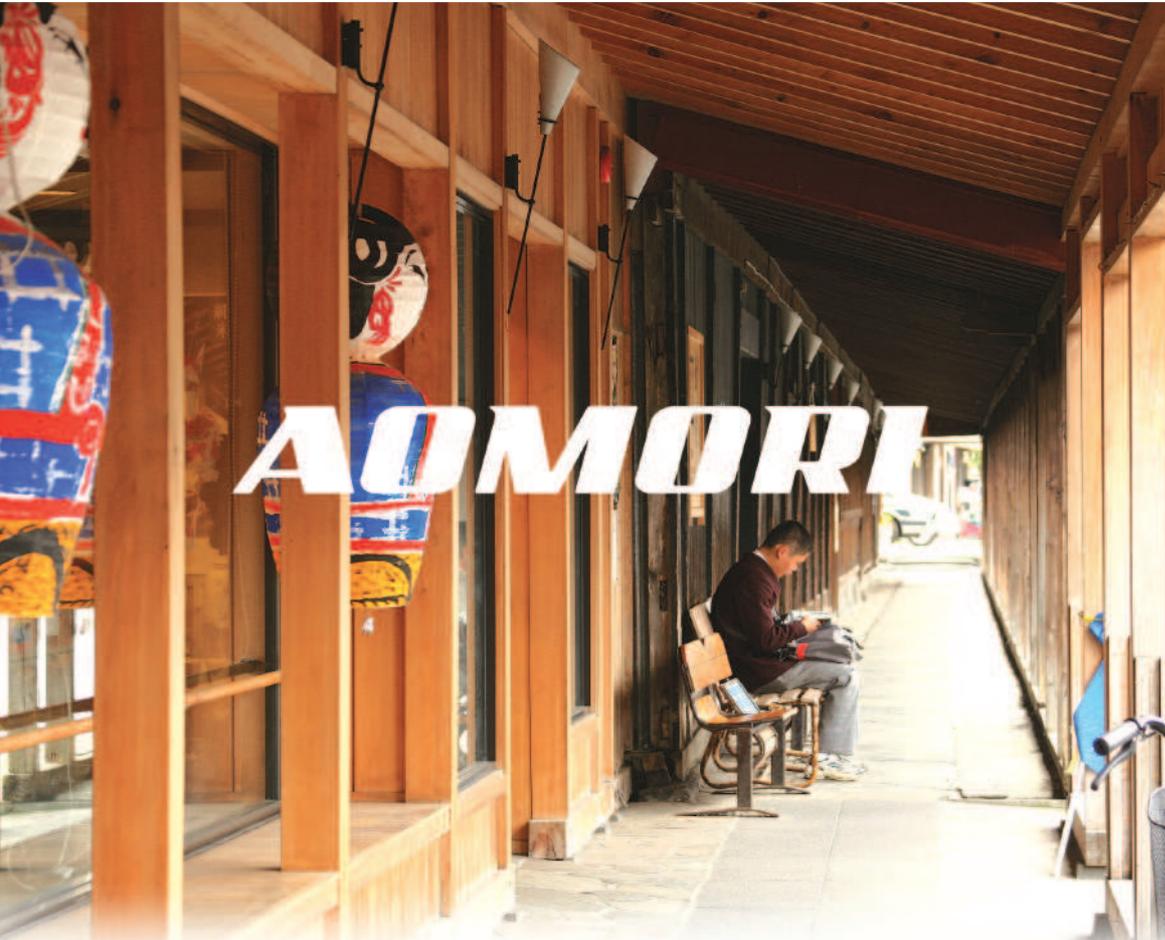


県民が青森県の豊かな自然と共生しながら保全し活用していく大切さを認識し、3Rやごみ削減などの取り組みの拡大や、省エネ行動の促進と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの適正な利活用をめざすこと。

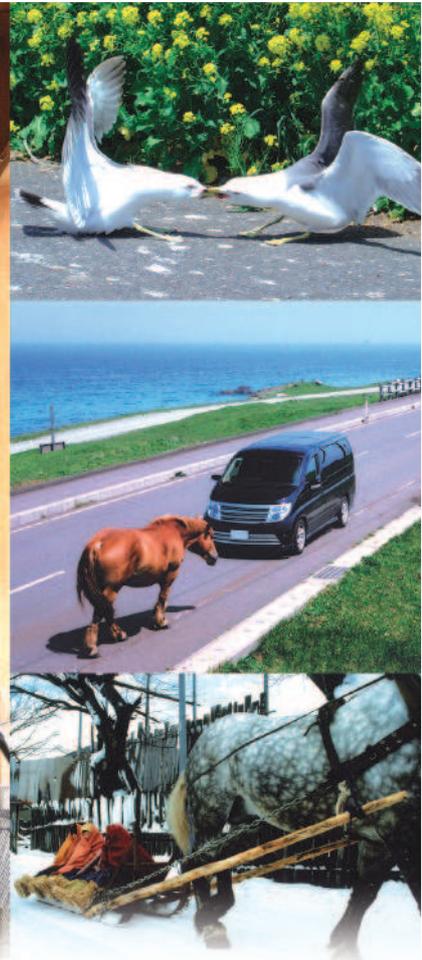
教育、人づくり分野



世界を視野に活躍できる地域の人材を育成し、若者や女性など多様な人材がリーダーとして活躍できる社会をめざすとともに、生涯を通じて、学びの機会と継続的にスポーツに親しむ環境を整えること。



AOMORI



CONTENTS

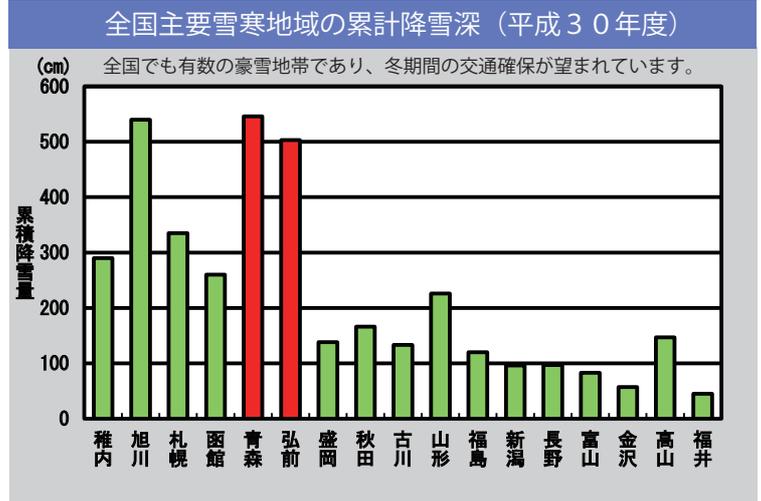
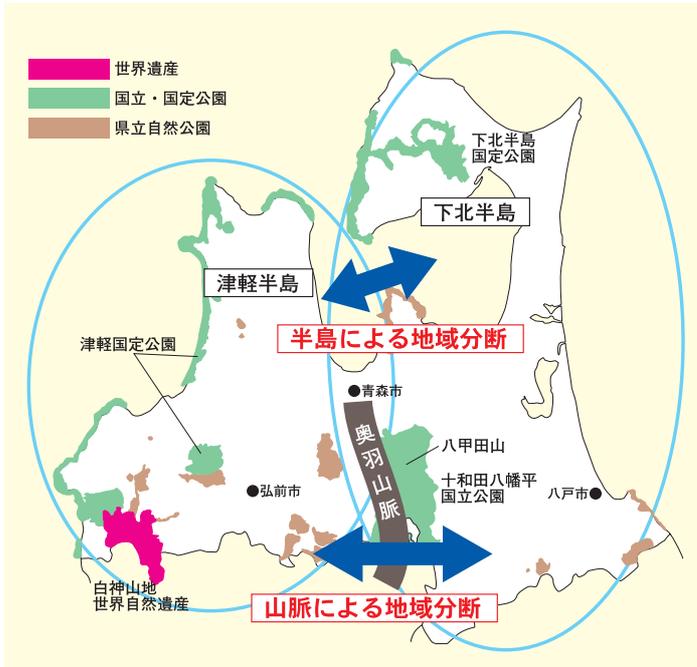
●青森県のすがた	1
●道路の現況と課題	3
●青森県の道づくり基本方針	
青森のみちの将来像	5
成果重視型の道路行政	6
●政策テーマ1 交流・連携	
交流促進と連携強化を支援する青森の道づくり	7
●政策テーマ2 雪	
雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	13
●政策テーマ3 安全・安心	
安全で安心な暮らしを支えるあおもりの道づくり	15
●政策テーマ4 都市機能の高度化	
都市機能の高度化を支援するあおもりの道づくり	18
●政策テーマ5 自然環境の保全	
あおもりの自然と調和し活用する道づくり	19
◆道路に関する予算	21
◆公共事業評価	22
◆高規格幹線道路	23
◆青森県の広域道路整備基本計画	25
◆青森県幹線道路網図	27
◆青森のこれまでのみちづくり	29
◆道路に関する情報発信	31

青森県のすがた

■青森の地勢

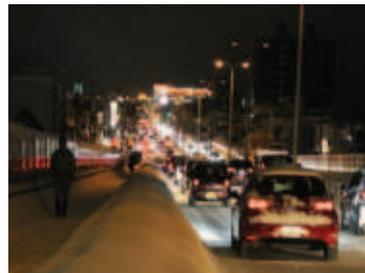
青森県は、世界遺産白神山地、十和田八幡平国立公園などに代表される豊かな自然環境を有しています。

しかし、その自然環境を形成する県土の地形は、津軽半島と下北半島の間にある陸奥湾や、中央を南北に連なる奥羽山脈が、青森・津軽地域と南部・下北地域を分断しています。



参考資料：気象庁 積雪の深さ一覧表（平成30年11月1日～令和元(2019)年5月1日）

●面積	●人口
9,645.64km ²	1,244,404人
R1.10.1 現在	R1.12.1 現在
国土地理院	青森県推計人口
	青い森オープンデータカタログ



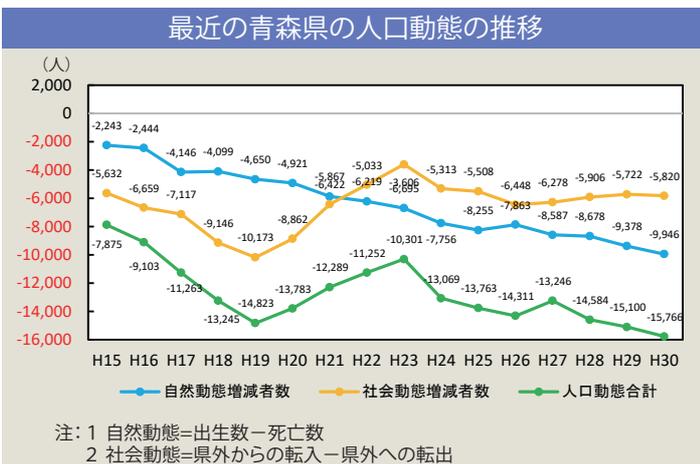
冬の道路状況（青森市 中央大橋）



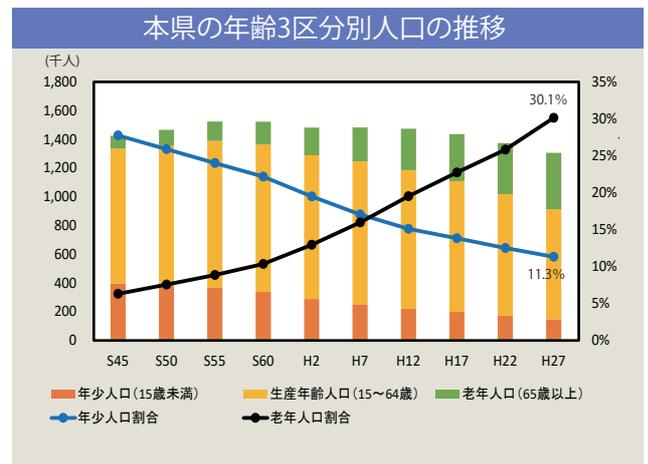
冬の道路状況（弘前市 茂森新町）

■人口減少と少子高齢化の進展

平成11年以降は、これまでプラスだった自然動態が、少子高齢化の進行によりマイナスに転じ、年々そのマイナス幅が拡大しています。このため、出生数の減少に歯止めをかけ、また若年者を中心とする県外への人口流出を食い止めるなど、総合的な少子化対策が必要となっています。



資料：青森県社会経済白書「青森県の人口」



資料：総務省「国勢調査」

■恵まれた観光資源

青森県には、三内丸山遺跡をはじめ、小牧野遺跡、是川遺跡、亀ヶ岡遺跡など「北海道・北東北の縄文遺跡群」が存在し、令和元年12月20日にはユネスコへの世界遺産国内推薦が決定しました。また日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、津軽の夏を彩る「弘前ねぶたまつり」、豪華絢爛な山車とお囃子が魅力の「八戸三社大祭」、巨大な山車で圧倒的迫力を醸し出す「五所川原立佞武多」のほか、春を呼ぶ豊作祈願のお祭り「八戸えんぶり」、艶やかな桜が咲き誇る「弘前さくらまつり」など、優れた文化観光資源を有しています。

観光入込客数

(単位:千人)

		H26	H27	H28	H29
総数		14,970	14,739	15,128	15,553
うち	日帰客	10,840 (72%)	10,300 (70%)	10,557 (70%)	11,360 (73%)
	宿泊客	4,130 (28%)	4,439 (30%)	4,571 (30%)	4,193 (27%)
うち	県内客	9,035 (60%)	8,398 (57%)	8,311 (55%)	8,903 (57%)
	県外客	5,935 (40%)	6,341 (43%)	6,816 (45%)	6,651 (43%)
うち	冬期観光客	4,466 (30%)	4,294 (29%)	4,989 (33%)	5,333 (34%)

出典：県観光企画課「平成29年青森県観光入込数統計」

主要行催事・イベント入込客数

(単位:千人)

行催事・イベント名	開催市町村名	入込客数			
		H26	H27	H28	H29
青森ねぶた祭	青森市	2,590	2,690	2,760	2,820
弘前さくらまつり	弘前市	2,300	2,260	2,360	2,510
弘前ねぶたまつり	弘前市	1,300	1,660	1,700	1,650
五所川原立佞武多	五所川原市	1,040	1,060	1,110	1,180
八戸三社大祭	八戸市	1,143	1,128	1,178	1,492
八戸えんぶり	八戸市	157	249	233	241

出典：県観光企画課「平成29年青森県観光入込数統計」

■農林水産業の高いポテンシャル

青森県の食料自給率は124%（全国4位）と高く、食料供給県として、様々な品目で全国上位の生産量を誇ります。本県で生産されたものは、販売事業者や物流関連事業との連携強化により、鮮度を保った輸送が行われるなど、生産から消費までを効率的・効果的につなぐ新たな流通ルート・手法が確立し、戦略的に国内外に販売されています。

全国有数の食料自給率



平成27年度(カロリーベース)

資料：農林水産省

全国有数の農業県

農業産出額 全国7位
果実産出額 全国1位

出典：平成27年 農林水産統計

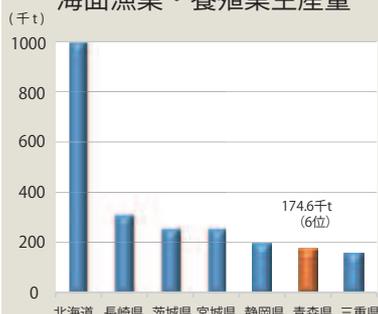
収穫量が全国上位の農産物

品目	全国収穫量 (t)	県収穫量 (t)	全国順位
りんご	756,100	445,500	1
にんにく	20,200	13,400	1
ごぼう	135,300	49,600	1
あんず	2,216	1,258	1
フサスグリ	17.0	13.8	1
ながいも	134,400	54,000	2
なたね	3,120	429	2
くるみ	155	38	2
西洋なし	26,900	1,850	2

出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2019

全国有数の水産業県

海面漁業・養殖業生産量



内水面漁業・養殖業生産量



平成30年 漁業・養殖業生産統計

漁獲量が全国上位の水産物

品目	全国漁獲量 (t)	県漁獲量 (t)	全国順位
ワカサギ	943	419	1
シラウオ	561	325	1
コイ	213	102	1
ウグイ・オイカワ	347	260	1
ホタテ貝	135,090	78,851	1
イカ類	103,414	25,697	1
ヒラメ	7,084	930	1
コンブ類	45,506	2,297	2
シジミ	9,868	3,141	2

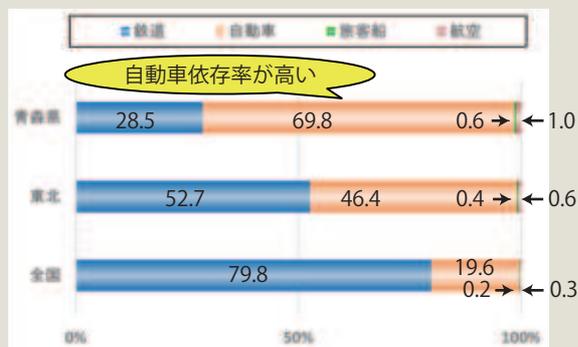
出典：ピカイチデータ 数字で読む青森県2019

道路の現況と課題

青森県は、全国と比較し公共交通網が十分行き届いていないこともあり、移動手段の殆どを自動車に頼っている状況です。しかし、主要都市間の移動にはまだ多くの時間を要しており、地域間交流・産業経済活動に一部支障をきたしています。また、本県は全国有数の豪雪地帯であることから、特に冬期間の道路空間確保が課題となっています。さらに、県内には歩道の未整備区間や斜面对策が必要な箇所が多く存在します。

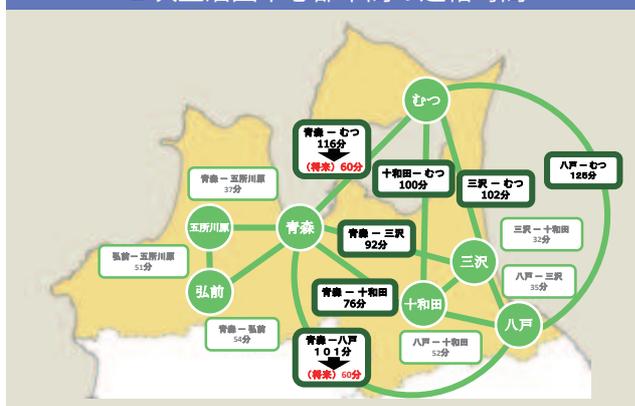
安全・安心な道路環境確保のため、これらの課題に対し、県民の皆さんのご理解とご協力を頂きながら、より効率的・効果的な対策の実施に努めていきます。

輸送機関別旅客輸送量



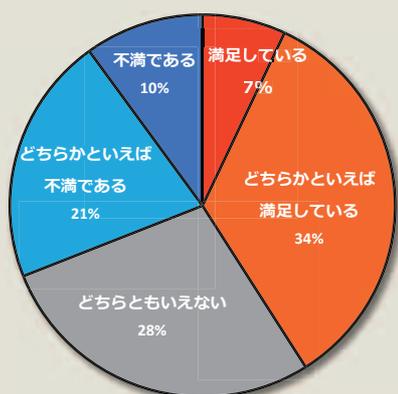
資料：H29 旅客地域流動調査 府県相互人員表から算出

2次生活圏中心都市間の連絡時間



資料：H27 全国道路・街路交通情勢調査 非混雑時旅行速度調査結果から算出

青森県の道路行政の満足度



資料：H29青森県ウェブアンケート

県民が道路行政に期待していること

1	除雪・排雪の充実	4	都市間の道路整備
		5	道路安全施設の充実※2
2	日常的な維持管理※1	6	渋滞の解消
		7	急カーブ、急勾配の解消
3	歩行者空間の確保	8	分かりやすい道路情報
		9	道路案内標識等の充実

※1 舗装の穴埋めや既設側溝の蓋交換など

※2 ガードレールや照明灯など

資料：H29青森県ウェブアンケート

青森県の道路現況

H30.4.1 現在(確定値) 単位：km

	路線数	実延長(km)	改良状況		舗装状況		橋 梁		トンネル	
			改良済み(km)	改良率(%)	舗装済み(km)	舗装率(%)	箇所	延長(km)	箇所	延長(km)
国道(直轄管理)	5	319.3	319.3	100.0	319.3	100.0	175	12.4	6	2.0
国道(県管理)	12	1,114.6	959.5	86.1	926.4	83.1	759	18.6	20	5.8
国 道 計	15	1,433.9	1,278.8	89.2	1,245.7	86.9	934	31.0	26	7.8
主 要	47	1,230.5	956.1	77.7	814.0	66.1	653	18.3	8	2.7
一 般	185	1,268.4	751.9	59.3	713.1	56.2	851	21.2	8	5.4
県 道 計	232	2,499.0	1,708.0	68.3	1,527.1	61.1	1,504	39.5	16	8.1
県管理計	244	3,613.6	2,667.5	73.8	2,453.5	67.9	2,263	58.1	36	13.9
国県道計	247	3,932.9	2,986.8	75.9	2,772.8	70.5	2,438	70.5	42	15.9
市町村道	33,741	16,064.3	9,575.7	59.6	3,925.4	24.4	4,463	65.1	13	1.3
合 計	33,988	19,997.2	12,562.5	62.8	6,698.2	33.5	6,901	135.6	55	17.2

注1：有料道路を含み、自転車道を除く。注2：指定区間国道は、4号、7号、45号の他に、101号、104号の一部を含む。

出典：道路統計年報2019

注3：改良延長は県道が車道幅員5.5m以上、また市町村道は5.5m未満を含む。舗装延長は簡易舗装を除く。注4：端数整理の為、合計が合わない場合があります。

●地域間交流・連携への支援が必要



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)



車両立ち往生 (国道279号 野辺地町～むつ市)

●雪に強いまちづくりが必要



すれ違い困難 (主要地方道青森東インター線 青森市)



地吹雪による視界不良 (一般県道川除木造線 つがる市)

●安全・安心な暮らしの確保が必要



歩道の未整備区間 (国道454号 新郷村)



落石危険箇所 (一般県道酸ヶ湯高田線 青森市)

●都市環境の向上が必要



都市部の渋滞 (国道103号 青森市)



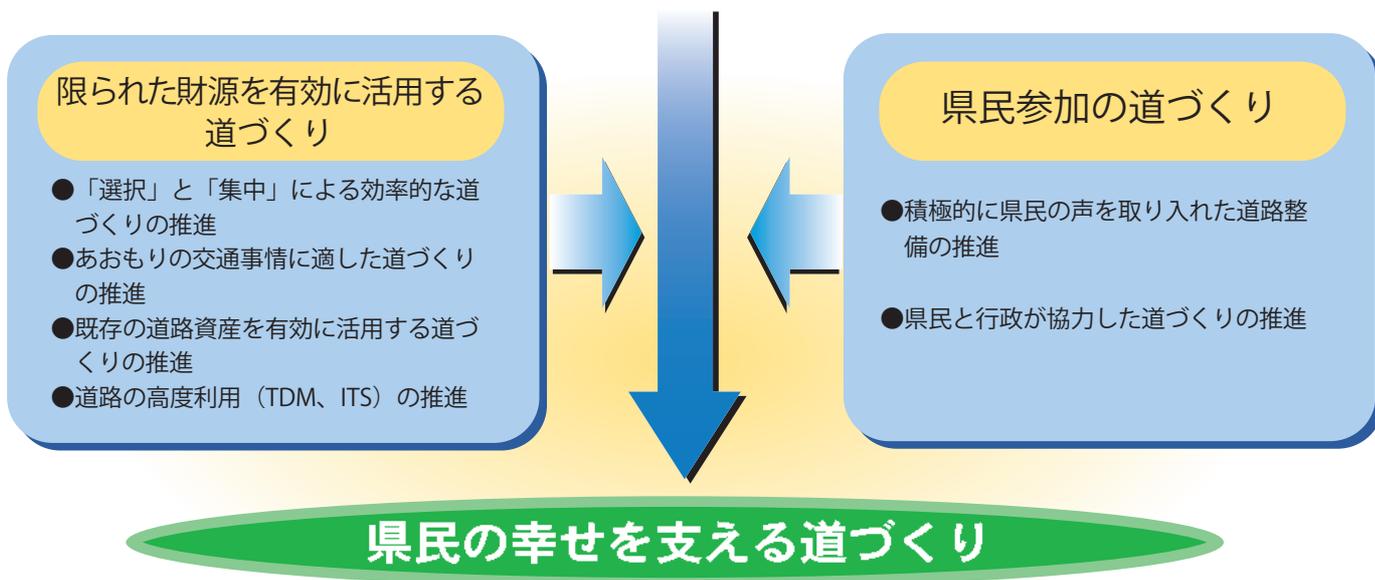
電線類の錯綜 (主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線 弘前市)

青森県の道づくり基本方針

道路事業の実施にあたっては、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦で掲げた「生業」と「生活」が循環する「経済を回す」仕組みづくりの実現を図るため、「青森のみちの将来像」の5つの基本方針に基づいて、「県民の幸せを支える道づくり」を目指して 効率的・効果的な事業の推進に努めています。

■青森のみちの将来像

基本方針（政策）	政策テーマ	政策目標
交流促進と 連携強化を 支援する あおりの 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●生活・経済圏間の連携強化を支援します。 ●あおり文化観光立県を支援します。 ●農水産品の都市への円滑な輸送を支援します。 ●国土保全を担う中山間地域と都市との連携を支援します。 ●交通拠点へのアクセス性強化を支援します。 ●救急医療体制を支援します。
雪国あおりの 暮らしを支える 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●冬にあおりに対応した道路構造を確保します。 ●冬期バリアフリーを推進します。 ●冬にあおりに対応した除雪の充実を図ります。 ●地吹雪に対する防雪施設の充実を図ります。
安全で安心な 暮らしを守る あおりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●事故危険箇所等における交通安全対策を推進します。 ●災害時における代替性のある道路網を確保します。 ●道路防災対策の推進による安全安心を確立します。
都市機能の 高度化を支援する あおりの道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●渋滞の解消による、良好な生活環境の創出を図ります。 ●ゆとりある歩行空間・彩りある街づくりを進めます。
あおりの 自然と調和し活用 する道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全等に配慮する道づくりを進めます。

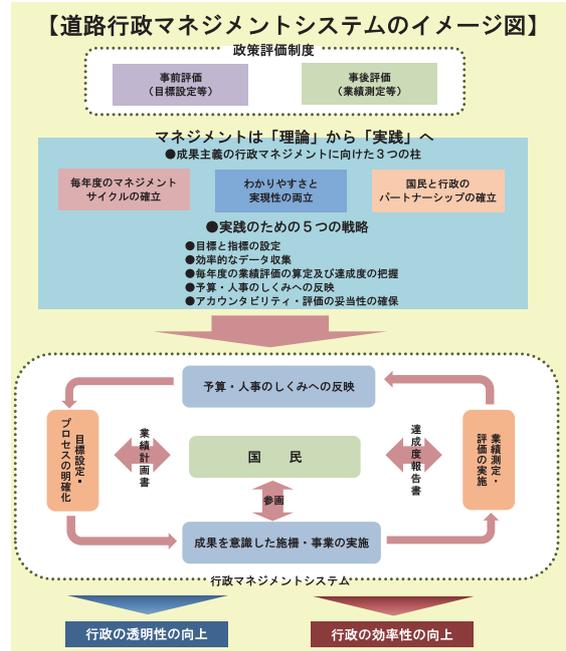
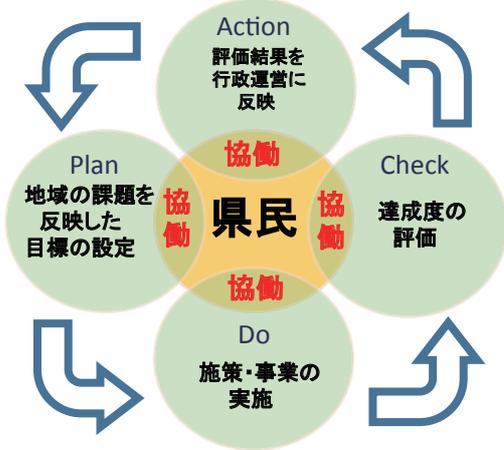


※基本方針と政策目標については、学識経験者や県民の意見を踏まえ、平成15年3月に「青森のみちの将来像」として取りまとめました。

■成果重視型の道路行政

これまで、「バイパスを〇〇Km整備します」といった量的な目標（指標）に基づいて事業を行ってきましたが、平成15年度からは「バイパスや歩道の整備により交通事故を△△件減少させる」といった、事業によって得られる“成果”を重視する 道路行政マネジメントに取り組んでいます。

成果目標を持ち（Plan）、成果を求めて取り組み（Do）、結果を評価し（Check）、評価結果を行政運営に反映させる（Action）成果重視型の道路行政を進め、より透明性・客観性の高い事業の転換に努めていきたいと考えています



道路整備による成果の一例

社会資本整備総合交付金において、道路整備に関する計画として、「地域間の交流拡大、地域資源・特産品の流通、観光力の強化を支える道づくりをめざす」ことを目標にした計画を定めており、成果目標の一つに「交通拠点から60分以内に到達できる地域に居住する(交流できる)人口を平成25年度末までに8千人増加させる。」を定めているため、県内全域を対象とした成果の一例として紹介します。

交通拠点として、新青森駅(新幹線)、青森空港、弘前駅、八戸駅(新幹線)、五所川原駅、七戸十和田駅(新幹線)、三沢空港の7拠点を選定しており、県が管理する一般国道、主要地方道及び一般県道の複数事業の整備による成果を算定したものです。

<成果>交通拠点からの60分圏域の拡大効果

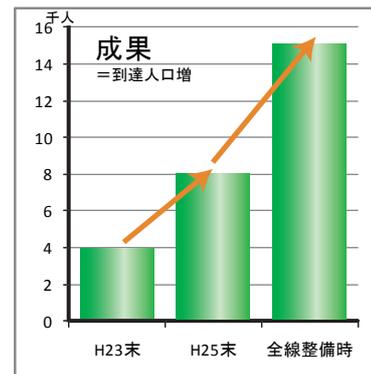
①60分到達地域の拡大状況



※ 算定した7拠点中2拠点(新青森駅、八戸駅)を图示

②60分到達人口の増加状況

H21当初→H23末	4千人増
H21当初→H25末	8千人増
H21当初→全線整備	15千人増



※ 7交通拠点の合計

青森県の幹線道路網について

高規格幹線道路をはじめとした広域的な高速道路体系の整備とともに、地方生活圏中心都市間の連携や交通拠点へのアクセス強化などを支援する国道・県道の整備を推進します。

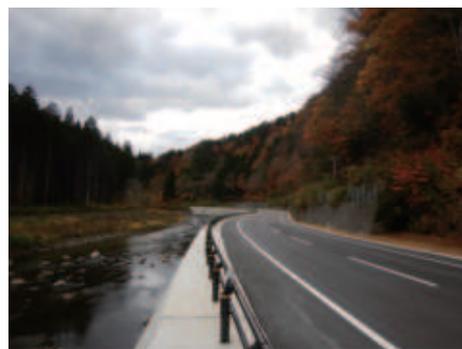
令和元年度の開通箇所と令和2年度の開通予定箇所

	令和元年度開通箇所			令和2年度開通予定箇所		
	路線名	箇所名	延長	路線名	箇所名	延長
一般道路	① 一般県道 水喰上北町停車場線 甲地区区	東北町	1.1km	⑤ 主要地方道 五所川原車力線 福浦～車力工区	中泊町～ つがる市	5.5km
	② 主要地方道 むつ恐山公園大畑線 葉色沢工区	むつ市	0.8km	⑥ 一般県道 相馬常盤野線 大秋工区	西目屋村	1.2km
	③ 主要地方道名川階上線 剣吉踏切	南部町	0.6km	⑦ 一般国道338号 砂子又工区	東通村	0.9km
				⑧ 一般国道279号 二枚橋工区	むつ市	2.2km
				⑨ 青森都市計画道路 3・4・2号西滝新城線(石江工区)	青森市	0.1km
地域高規格道路	④ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	1.3km 部分供用	⑩ 一般国道45号 三陸沿岸道路 洋野階上道路(※)	久慈市 ～階上町	23.0km

現在進められている主な事業

路線名	箇所名	延長
⑪ 一般国道45号 上北自動車道 天間林道路(※)	七戸町	8.3km
⑫ 一般国道101号 津軽自動車道 柏浮田道路(※)	つがる市	12.3km
⑬ 一般国道103号 奥入瀬(青楓山)バイパス(※)	十和田市	5.2km
⑭ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 むつ南バイパス	むつ市	8.7km
⑮ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜北バイパス	むつ市 ～横浜町	10.4km
⑯ 一般国道279号 下北半島縦貫道路 横浜南バイパス	横浜町	7.0km

(※)は国土交通省青森河川国道事務所の事業です。



主要地方道むつ恐山公園大畑線 葉色沢工区 完成



一般国道279号下北半島縦貫道路 むつ南バイパス 部分供用

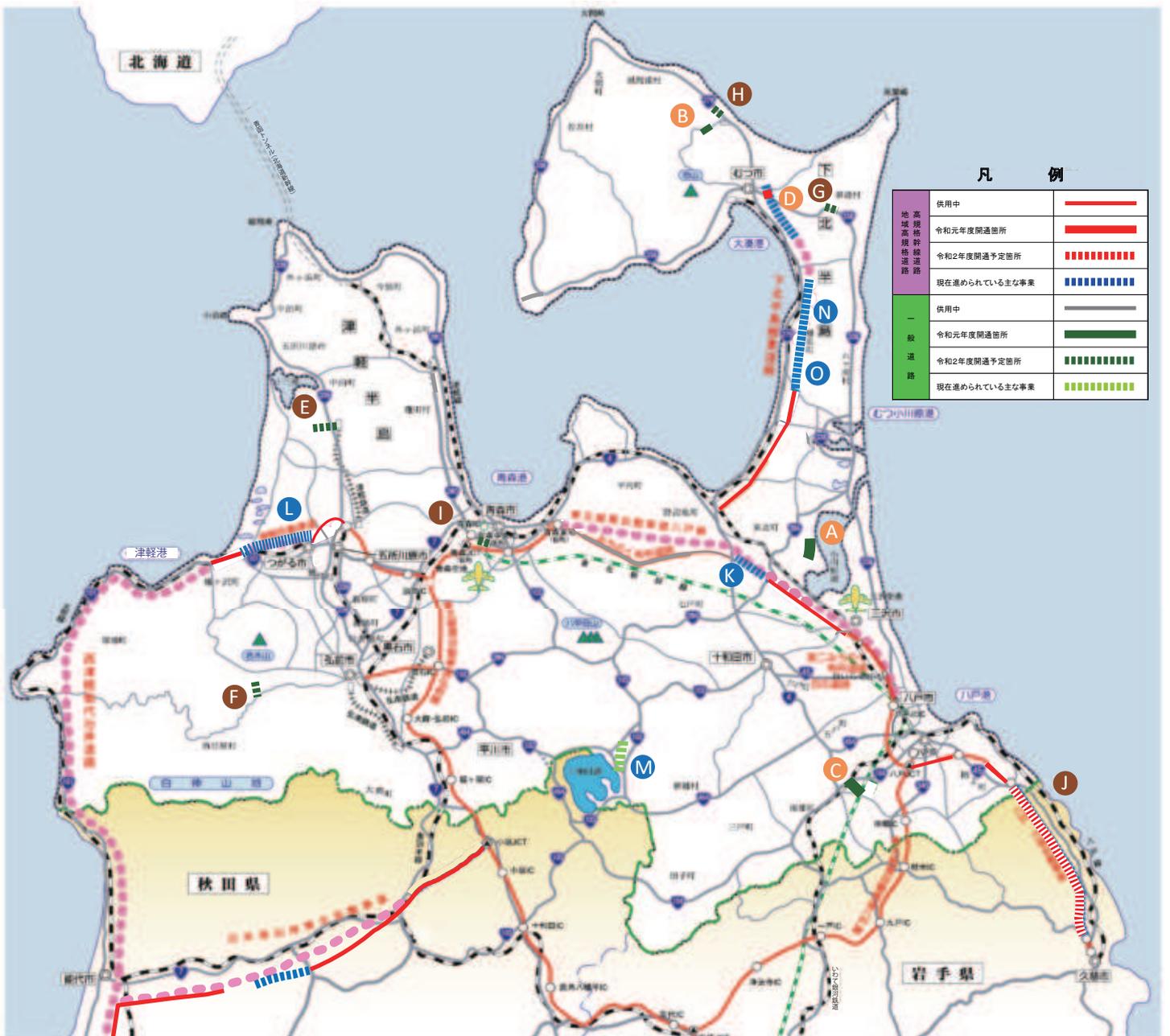


一般国道280号 蓬田～蟹田工区
(平成29年7月28日開通)



三沢都市計画道路 3・4・3号中央町金矢線
(平成29年3月30日開通)

事業位置図



供用区間の整備効果

高速性・定時性の確保

開通区間の並行現道には、信号の連続により渋滞する野辺地市街地やJR大湊線と平面交差する踏切があるため、通過するのに非常に時間がかかりました。



渋滞する野辺地市街地



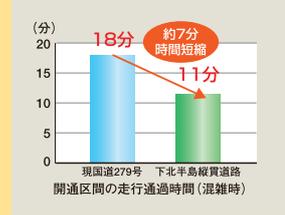
JR大湊線と平面交差する踏切

開通

現道の障害を回避することができ、また交差道路はすべて立体構造のため、高速性・定時性を有した安定走行が可能となりました。



開通により安定走行が可能



安全性の確保

県内有数の豪雪地帯である野辺地町の市街地において、路肩への堆雪により、道路幅が狭くなり、走行性の悪化が発生していました。またアップダウンが激しい箇所が存在し、視認性が悪く、冬期のスリップ事故の原因となっていました。



路肩堆雪による幅員狭小状況



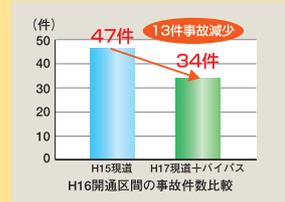
アップダウンの激しい現道

開通

路肩を広くとっているため、冬期における十分な車線幅の確保が可能となりました。また中央分離構造や非常に緩やかな線形・縦断勾配での整備により、走行の安全性が図られました。



開通により安定走行が可能



野辺地バイパスへの救急車退出路の設置 (平成19年12月22日供用開始)

横浜町及び六ヶ所村方面から公立野辺地病院への救急搬送路の状況改善のため、既に供用している野辺地バイパスの病院付近に救急車退出路を設置し、搬送時間の短縮や救急患者への負担軽減を図るものです。



搬送路の問題点



- 市街地内の渋滞による搬送時間への影響
- 加減速による患者への負担、救急車内の初期治療への障害
- 冬期間は更に状況が悪化 (搬送時間増、振動発生)



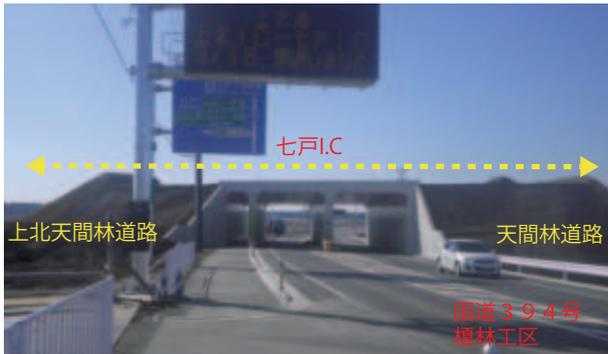
救急車退出路の整備

- 搬送時間の短縮、定時性の確保
- 安定走行による患者への負担軽減、初期治療の安全性の向上
- 年間を通じて、安定した救急搬送が可能

■一般国道394号（榎林工区）

一般国道394号は、むつ市を起点とし、上北自動車道I.Cや東北新幹線七戸十和田駅を經由し、弘前市へ至る延長約83kmの幹線道路であり、物流や観光産業を支える重要な幹線道路です。

当路線の七戸町榎林工区は幅員が狭い上、急カーブが多く安全な通行に支障をきたしていることから、安全安心な通行の確保、沿道環境の改善のため、榎林工区約3.4kmの整備を進めています。また当工区は、平成30年度に供用した上北天間林道路七戸ICへのアクセス路にもなっているため、七戸ICから町道までの約1.5kmの区間を平成30年11月27日に部分供用しました。



■一般国道101号 津軽自動車道

柏浮田道路

■事業の概要

- ・つがる市柏稲盛からつがる市木造越水を結ぶ自動車専用道路

■事業の効果

- ・冬期交通環境の改善
- ・主要な交通拠点からのアクセス向上で周遊観光を支援、地域産業を活性化
- ・救急搬送の速達性の向上

■令和2年度の事業内容

調査設計、用地調査、用地買収



(仮)浮田IC周辺

浪岡五所川原道路

■事業の概要

- ・青森市浪岡大字徳才子から五所川原北I.Cを結ぶ区間内の延長1.5kmの付加車線整備

■令和2年度の事業内容

改良工事、舗装工事



(仮)木造IC周辺



つがる柏IC周辺

--- 事業中

※一般国道101号津軽自動車道は、国土交通省において整備中です。

■効果的な雪対策

青森県は全国でも有数の豪雪地帯であり、冬期交通、歩行者空間の確保は切実な課題です。

県では、500台以上の除雪機械を配置し、日夜除排雪作業に取り組んでいます。また、融・流雪溝や無散水消雪（ロードヒーティング）施設等を整備し、車道や歩道空間の確保に努めています。

今後も、除排雪作業と施設整備を効果的に組み合わせ、効率的な雪対策に取り組めます。同時に、県民の皆様と協働した冬期対策を進めていきたいと考えています。

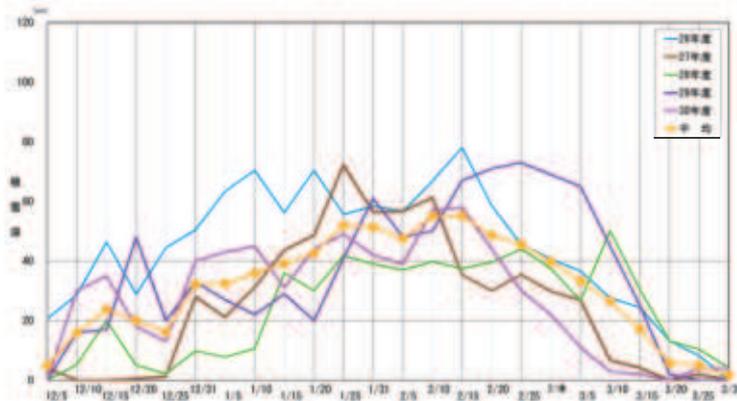
●青森県の積雪寒冷地域及び豪雪地帯の状況



■	積雪地域(青森県 全域)
	寒冷地域(青森県 全域)
	豪雪地帯(青森県 全域)
■	特別豪雪地帯
	青森市 全域
	弘前市 のうち旧相馬村
	黒石市 全域
	五所川原市 のうち旧五所川原市
	十和田市 のうち旧十和田湖町
	平川市 のうち旧平賀町、旧碓ヶ関村
	平内町 全域
	今別町 全域
	蓬田村 全域
	鱒ヶ沢町 全域
	西目屋村 全域
	野辺地町 全域
	東北町 のうち旧東北町
6市、5町、2村、計13市町村	

■近年の積雪状況

5日おきの積雪深図（青森、弘前、五所川原、むつ、野辺地の平均）



すれ違い困難



一般県道駒込筒井線（青森市）

<通常期>



<冬期>



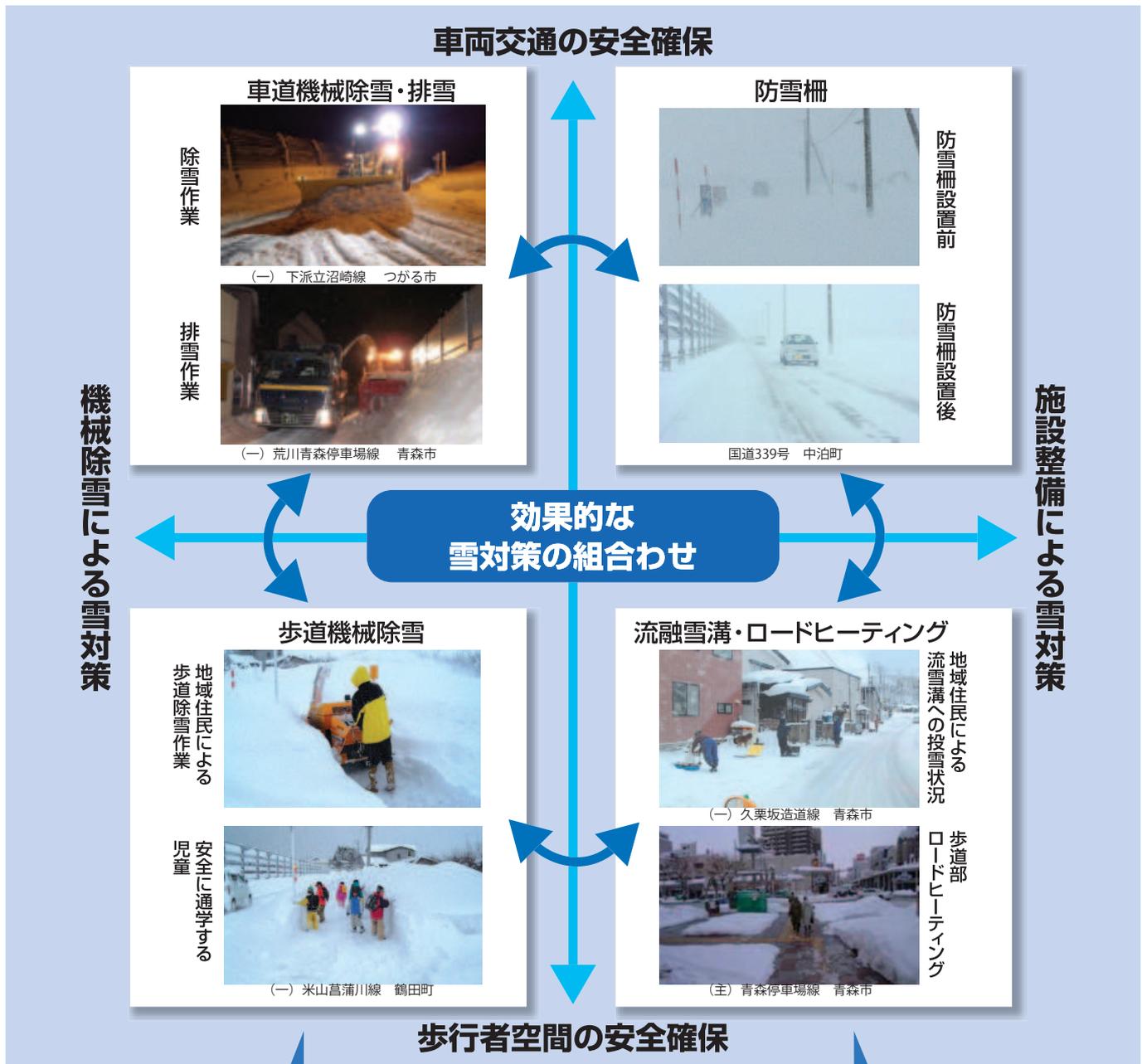
(一) 荒川青森停車場線 青森市大野地区の通常期と冬期の様子

冬期の渋滞状況



主要地方道森代十和田線（青森市）

■冬期交通・歩行者空間確保の取り組み



スクラム除雪事業 ～地域住民と行政の協働～

県民からの歩道除雪ニーズは非常に高い
↓
青森県のすべての歩道を行政が除雪することは実質的に困難
↓
町内会やPTA等の地域住民へ小型除雪機を無償貸与し、
通学路等の歩道の除雪作業を実施してもらう

地域住民による歩道除雪延長と貸与台数の推移

年度	H9	H12	H15	H18	H21	H24	H27	H30
貸与台数	0	31	58	111	112	114	114	116
延長(km)	0	54.2	116.6	180.8	178.6	190.1	202.6	206.4

地中熱を利用した歩道融雪

小さな温度差で素早く熱を伝える中空金属パイプにより、地中熱を取り出し路面に伝えています。
地中と路面の温度差で放熱するため、暖かい時はあまり放熱せず、路面温度が低い時に多くの放熱をする自動制御的な放熱を行うものです。

(主) 青森環状野内線 青森市

交通安全事業

通学路等における歩道整備、市街地の歩道の段差解消（バリアフリー対策）などを順次行い、快適な歩行者空間の確保と事故の防止を図っています。

自転車歩行車道整備事例

整備前



整備後



一般国道394号【自歩道】
上北郡東北町乙供地内
平成19年度～平成27年度

歩道整備事例

整備前



整備後



差波新井田線【歩道】
八戸市新井田地内
平成20年度～平成28年度

交差点改良整備事例

一般国道454号（八戸市尻内地内）

■事業の概要

八戸自動車道と国道454号との交差点である八戸西スマートI.Cの供用（平成31年3月23日供用）にあわせ、付加車線の設置等の交差点改良を実施。

■事業期間

平成30年度

整備前



整備後



■ 橋梁補修・老朽橋梁架替事業

● 橋梁の耐震補強

地震時の橋梁被災を防止し、救急・救援活動や緊急物資の輸送など復旧活動に重要な役割を果たすルートを確保するため、集中的に落橋防止装置の設置や、橋脚補強などの耐震補強を実施しています。

● 橋梁の補修・維持修繕

橋梁アセットマネジメント（※）に基づき、老朽化している床版や桁の補修、再塗装や高欄補修などを計画的かつ効率的に行い、加えて日常的な維持管理業務として伸縮装置の清掃等を実施し、橋梁の長寿命化を図っています。

● 老朽橋梁の架け替え

老朽橋梁の中でも劣化損傷が著しく、現状で危険な状態にある橋梁について、緊急性に応じて順次架け替えを行っています。

● 市町村の支援

市町村の管理する橋梁の適正な維持管理体制の確立を支援しています。



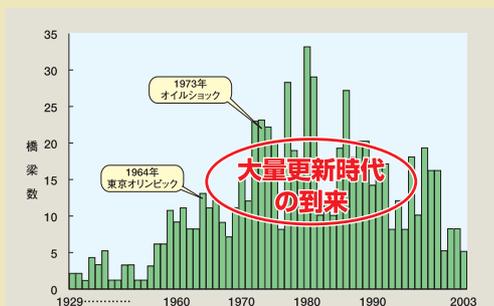
▲ 橋梁の補修（塗装塗替）
一般県道 荒川青森停車場線
大野小前歩道橋

（※） 橋梁アセットマネジメントとは、

橋はこれまで、悪くなってから架け替えるということを繰り返してきました。しかし今までのやり方では、近い将来到来する橋の大量更新時代に対応することができません。

そこで、維持コストの最小化・平準化を目的に、対策が必要な橋に優先順位をつけ、計画的な維持管理を行うことにより、橋の長寿命化を実現させることができます。

橋を取り巻く現状と課題



- 橋の多くは、高度成長期以降に建設が集中しています。
- 橋の寿命は約50年程度といわれる事もあり、近い将来、大量更新時代が到来することになります。
- しかし、厳しい財政運営で、橋ばかりにお金をかけるのは不可能です。
- そこで、計画的、戦略的な維持管理が必要です。

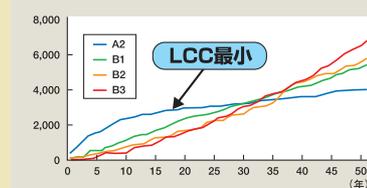
橋梁アセットマネジメント導入

① 橋梁点検の精度向上

- ITの活用による精度の高い点検を実施
- 点検結果をもとに将来の劣化を予測

② 最適補修時期を選定

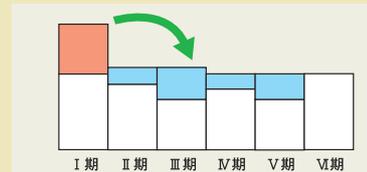
- 橋梁毎に最小維持管理コスト(LCC)を算出
- 維持管理コストが最小となる最適な補修時期を決定



▲ LCC算出例

③ 計画的な維持管理の実施

- 予算との整合
- 優先順位、対策橋梁を決定



▲ 予算の平準化を行います。



長寿命化修繕計画を策定。効率的な橋梁補修に取り組んでいます。
取組み状況を道路課HPで公表しております。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/kyouryou-asset.html>

災害防除事業

斜面からの落石や土砂の崩落などが発生した場合、通行止めにより、生活や産業に大きな影響を与えます。これを未然に防止するため、危険箇所に対して災害防止の対策を進めています。

過去の落石発生事例

落石による通行止めが発生した場合、代替路がない地域では迂回時間が大きくなり、生活・産業などに支障をきたします。

(一) 九艘泊脇野沢線 むつ市

国道279号 風間浦村

(主) 夏泊公園線 平内町



全面通行止め：H17.4.9～5.12
・被災箇所→平内町役場
20分→60分（迂回）



全面通行止め：H18.8.22～9.14
・被災箇所→むつ市脇野沢庁舎
10分→30分（迂回）



全面通行止め：H17.4.19～4.20
・大間町→むつ市
50分→210分（迂回）



現場吹付法枠+緑化

国道102号十和田市



落石防護柵

国道279号風間浦村



落石防護網

(主) 岩崎西目屋弘前線鱈ヶ沢町

道路防災点検

災害の発生が想定される個所は、それぞれに番号を付けて管理しており、毎年点検を行っています。点検結果は防災カルテにとりまとめ、『要対策』と判定された個所から優先的に対策工事を行っており、『対策不要』と判定されるまでは点検を継続して経過を観察しています。



施工前(要対策)



フリーフレーム
工法



施工後(対策完了)

(主) 岩木山環状線 鱈ヶ沢町

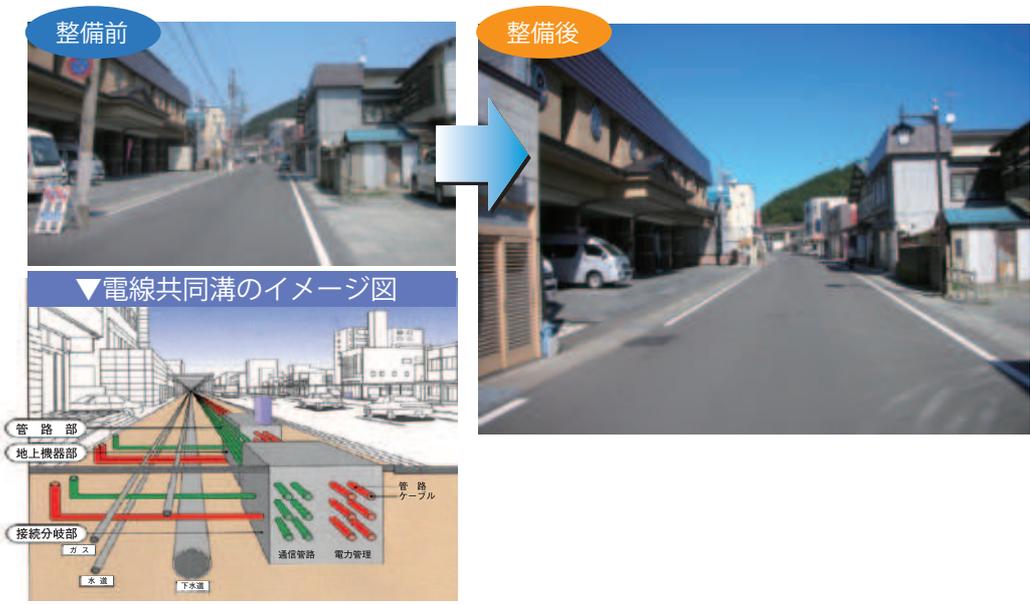
市街地における渋滞解消のための道路整備や、社会実験などに取り組み、都市機能の向上、快適な都市環境づくりに努めています。また、快適な歩行者空間確保と都市景観の向上、情報化社会への対応のため、電線共同溝の整備等の無電柱化事業を行っています。

■無電柱化事業

(一)増田浅虫線電線共同溝事業 青森市浅虫

無電柱化の効果

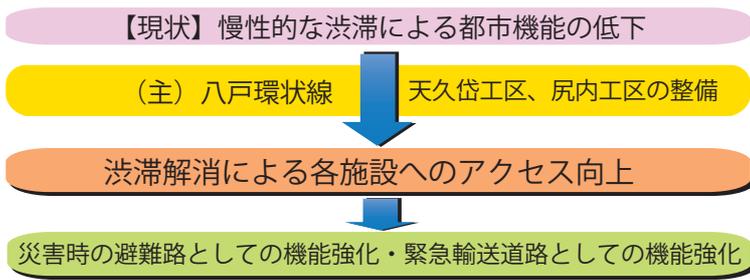
- ・ 歩道空間の確保、バリアフリー化
- ・ 都市景観の向上
- ・ 情報通信網の強化
- ・ 電力の安定供給など災害に強いまちづくり



■渋滞対策事業 (都市機能の向上)

(主)八戸環状線 天久岱工区、尻内工区

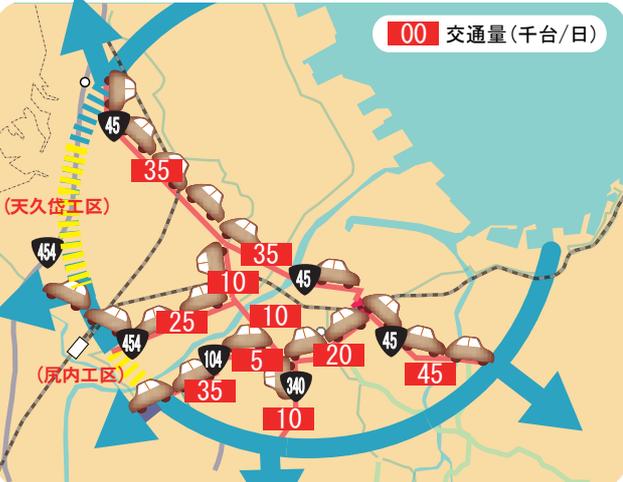
八戸港～八戸市立市民病院～IC～八戸市街地を結ぶ道路ネットワークを整備し都市機能の向上を図ります。



八戸市中心部の渋滞状況

■環状線が未整備の場合の道路利用形態

■環状線が整備された場合の道路利用形態



八戸IC ※八戸環状線内側の道路利用形態の変化(平成42年交通量推計結果 青森県資料) 八戸IC

■一般国道103号 青樫山バイパス(奥入瀬溪流エコロードフェスタ)

課題

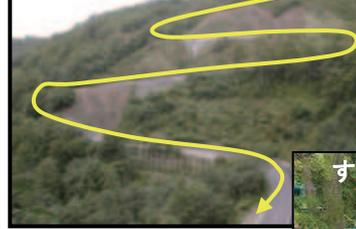
国道103号奥入瀬溪流区間は観光道路となっているだけでなく、休屋・宇樽部地区の住民にとっての生活道路としての役割を担う重要な道路です。しかし観光シーズンになると観光バスやマイカーによる渋滞や路上駐車が発生し、観光客が安心して散策できない状況にあるだけでなく、排気ガスにより奥入瀬溪流の自然環境へ大きな負荷を与えています。



課題

現在、迂回路となる七曲区間はつづら折りで幅も狭く、すれ違いが困難な状況となっています。

急勾配・急カーブの続く道路



すれ違い困難な隘路区間



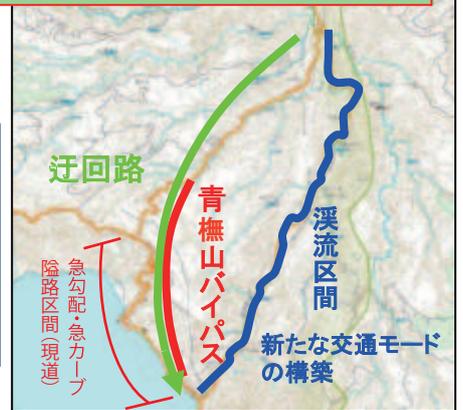
対策

●国道103号青樫山バイパス事業

平成25年度に奥入瀬溪流を迂回する国道103号青樫山バイパスが国の直轄権限代行事業として新規採択されたことにより、奥入瀬溪流の自然保護と利活用を両立させる抜本的な対策が可能となります。

●奥入瀬溪流利活用検討委員会
(平成25年度～)

国道103号奥入瀬(青樫山)バイパス整備により、旧道区間となる奥入瀬溪流の新たな利活用策を検討し、環境保全地域振興の先進モデルとそれを支える新たな交通モードを構築します。



NPO等と連携したガイドツアー等の新たな観光スタイルを模索しながら観光振興を目指します。



【奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会】

県、市、NPOや(一社)十和田奥入瀬観光機構等で構成される。毎年秋に実施しているマイカー規制により生み出される、静かな奥入瀬溪流の自然環境を活用してウォーキングイベント等を施行し、青樫山バイパス整備後の奥入瀬溪流の観光振興策の検討と自然環境保全に対する意識向上を図っています。



奥入瀬溪流マイカー交通規制にご協力下さい。

2019 10/24(木) 25(金)

規制時間 >> 10:00 ~ 14:00 まで

2019 10/26(土) 27(日)

規制時間 >> 9:00 ~ 15:00 まで

エコロードフェスタ同時開催!

10/26(土)・27(日)のエコロードフェスタは、奥入瀬溪流内のマイカー交通規制期間中(9:00~15:00)に実施します。10/24(木)~27(日)に奥入瀬溪流へマイカーでお越しの際は、奥山駐車場(無料)、休屋駐車場(有料)に駐車の上、シャトルバス(有料)をご利用ください。
※災害発生時、現地状況により交通規制を実施しない場合があります。



規制区域 ①

国道102号奥入瀬溪流区間
 国道102号惣辺交差点~子ノ口交差点
《自動車・自動二輪 専用バスも除く》
車両通行止め
(大型車、タクシー他一部車両を除く)

規制区域 ②

国道102号七曲区間
 子ノ口交差点~青楓山交差点
《大型車・特定中型車》
車両通行止め

道路に関する予算

道路事業予算

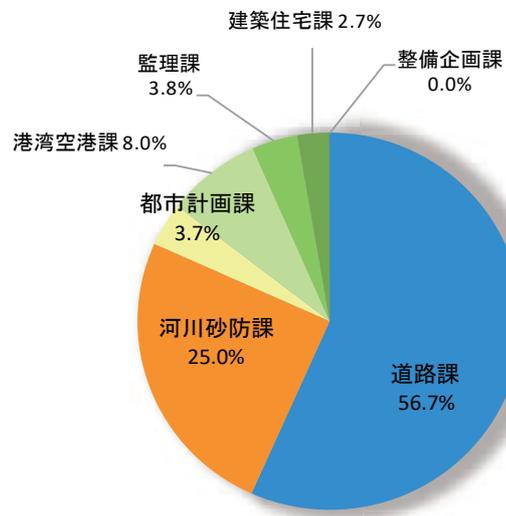
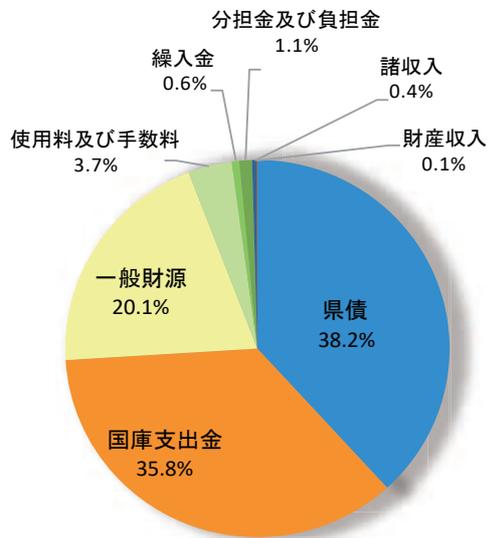
県土整備部予算における道路事業費の割合は5割以上を占めています。

今後も引き続き、青森県をとりまく社会環境の変化とともに多様化していくニーズを的確に捉えた道路行政を進めていきたいと考えています。

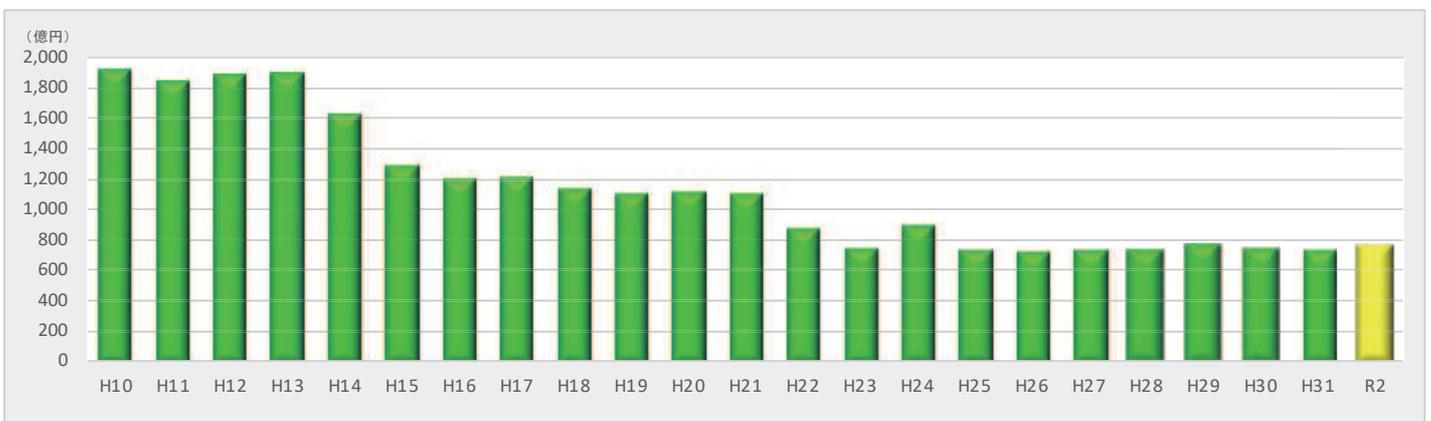
令和2年度 県土整備部一般会計予算（当初）の構成

歳入合計 75,275,657（単位：千円）

歳出合計 75,275,657（単位：千円）



県土整備部一般会計予算の推移



出典：令和元年度青森県県土整備行政の概要（資料編）

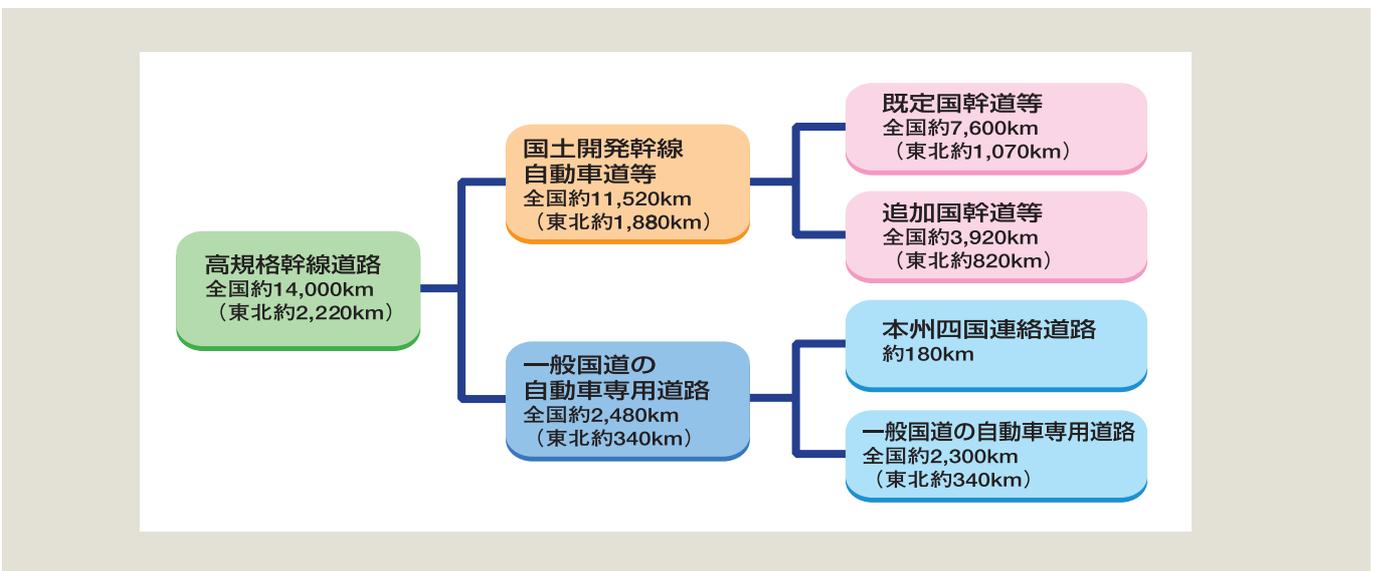
高規格幹線道路

高規格幹線道路とは…

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路です。第4次全国総合開発計画（昭和62年6月30日閣議決定）において提唱された“交流ネットワーク構想”を実現するため、「高速交通サービスの全国的な普及、主要拠点間の連絡強化」を目標とし、地方中枢・中核都市、地域の発展の核となる地方都市及びその周辺地域等からおおむね1時間程度で利用可能となるよう、14,000kmの高規格幹線道路網が定められました。

■高規格幹線道路の整備体系

高規格幹線道路の整備に当たっては、効率的な整備を図る観点から、路線の計画を勘案し、国土開発幹線自動車道等または、一般国道の自動車専用道路として同時並行的に推進することとしています。このうち、国土開発幹線自動車道等については、昭和62年9月1日の国土開発幹線自動車道建設法の一部改正が行われ、新たに3,920kmが予定路線として位置づけられました。



青森県の高規格幹線道路

令和2年2月現在

	道路名	全体延長	うち県内延長	県内状況	
国土開発幹線自動車道等 国幹道法に基づく高規格幹線道路	東北縦貫自動車道弘前線	698km	57km	全区間供用済	
	東北縦貫自動車道八戸線	167km	113km	岩手県境～八戸IC	供用済 L=14.3km
				八戸JCT～八戸北IC	供用済 L=13.2km
				八戸北IC～青森東IC	基本計画区間 L=70km
日本海沿岸東北自動車道	322km	(一)	(県内区間については東北縦貫自動車道弘前線と重用)		
			青森東IC～青森JCT	供用済 L=15.6km	
一般国道の自動車専用道路 国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路	津軽自動車道	38km	38km	青森市浪岡～つがる柏IC	供用済 L=19.5km
				柏浮田道路	事業中 L=12.3km
				鯉ヶ沢道路	供用済 L=3.7km
				浪岡IC～青森市浪岡	基本計画区間 L=約2km
三陸沿岸道路	51km	20km	八戸南環状道路	供用済 L=8.6km	
			八戸南道路	供用済 L=8.7km	
			階上町～岩手県境	事業中(令和2年内開通予定) L=3km	
			228km		

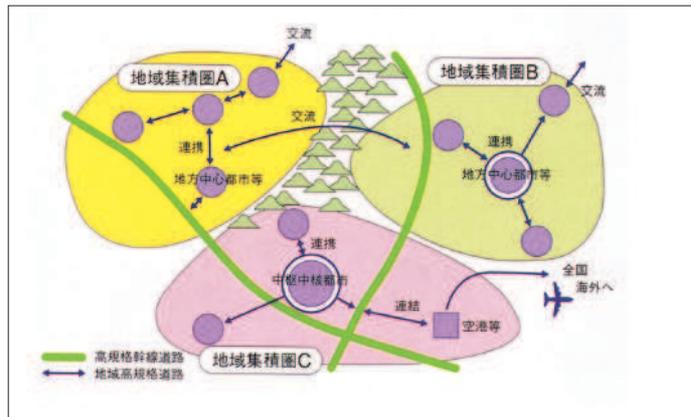
地域高規格道路とは…

地域高規格道路とは、高規格幹線道路と一体となって幹線道路ネットワークの軸となる道路で、60km/h以上の速度サービスを提供することを目的として、2車線以上の車線を確保し、自動車専用道路、または、これと同程度の機能を有した、質の高いサービスを提供できる道路です。

■地域の暮らしを豊かにする地域高規格道路の整備

活力ある地域づくりを実現するためには、交流の促進により、それぞれの地域が広域的に連携し、全体として実質的な集積規模の拡大を図ることが必要となっています。このため、全国的な高規格幹線道路と一体となって地域の連携を強め、集積を高める地域高規格道路の整備を推進します。

地域高規格道路は広域道路（交流促進型）に位置づけられた区間から選定されます。



青森県の地域高規格道路

令和2年2月現在

	名称	区間	延長	備考	
地域高規格道路	下北半島縦貫道路	むつ市～七戸町	約68km	むつ南バイパス	8.7km (事業中) 内1.3km供用済
				むつ市奥内～むつ市中野沢	約10km (計画路線)
				横浜北バイパス	10.4km (事業中)
横浜南バイパス				7.0km (事業中)	
吹越バイパス				5.8km (供用済)	
有戸北バイパス				6.3km (供用済)	
有戸バイパス				6.3km (供用済)	
野辺地バイパス				6.9km (供用済)	
野辺地町～七戸町				約7km (国による計画段階評価中)	
弘前黒石IC連絡道路	弘前市～黒石市	約11km	弘前尾上道路 3.6km (供用済) 尾上黒石道路 7.4km (供用済)		
西津軽能代沿岸道路	鱒ヶ沢町～秋田県能代市	約90km(県内約60km) 約79km(候補路線除く)	候補路線		



下北半島縦貫道路 吹越バイパス



弘前黒石IC連絡道路

青森県の広域道路整備基本計画

広域道路整備基本計画とは…

「広域道路整備基本計画」は、国土全体、地域全体という広域レベルの社会交流を支え、地域の連携を促すネットワークとして高規格幹線道路の整備と合わせ、地域高規格道路網や、これらと一体的に機能する広域的な幹線道路網の整備を計画的に進めるため、関連する交通機関、交通拠点（空港、港湾、高速鉄道駅）や都市拠点等の地域拠点をはじめ、国土利用、土地利用等の整合のとれた幹線道路網計画を策定するものです。

■道路整備の目標

広域道路選定の基本的考え方

- 広域的には、地方生活圏中心都市、二次生活圏中心都市、産業拠点、観光拠点及び交通結節点を有機的に連絡し、高規格幹線道路を補完する道路網
- 都市部については、都市の機能強化を図る環状・放射道路、交通拠点間を連絡する道路

広域道路（交流促進型）の選定の基本的考え方

- ①広域集積圏相互の連携を強化する道路
- ②都市の環状道路
- ③半島地域の骨格の形成など、地域集積圏内の主要な市町村と核となる主要都市との連絡を強化する道路
- ④①～③の道路と高規格幹線道路との連絡を強化する道路
- ⑤①～④の道路と空港・新幹線駅・港湾などの交通拠点、または地域振興プロジェクトなどの産業拠点との連絡を強化する道路

地域交流促進のための将来目標

- 県都青森市と地方生活圏中心都市間
- 地方生活圏中心都市と圏域内市町村間
- 高規格道路ICへの到着時間

概ね1時間

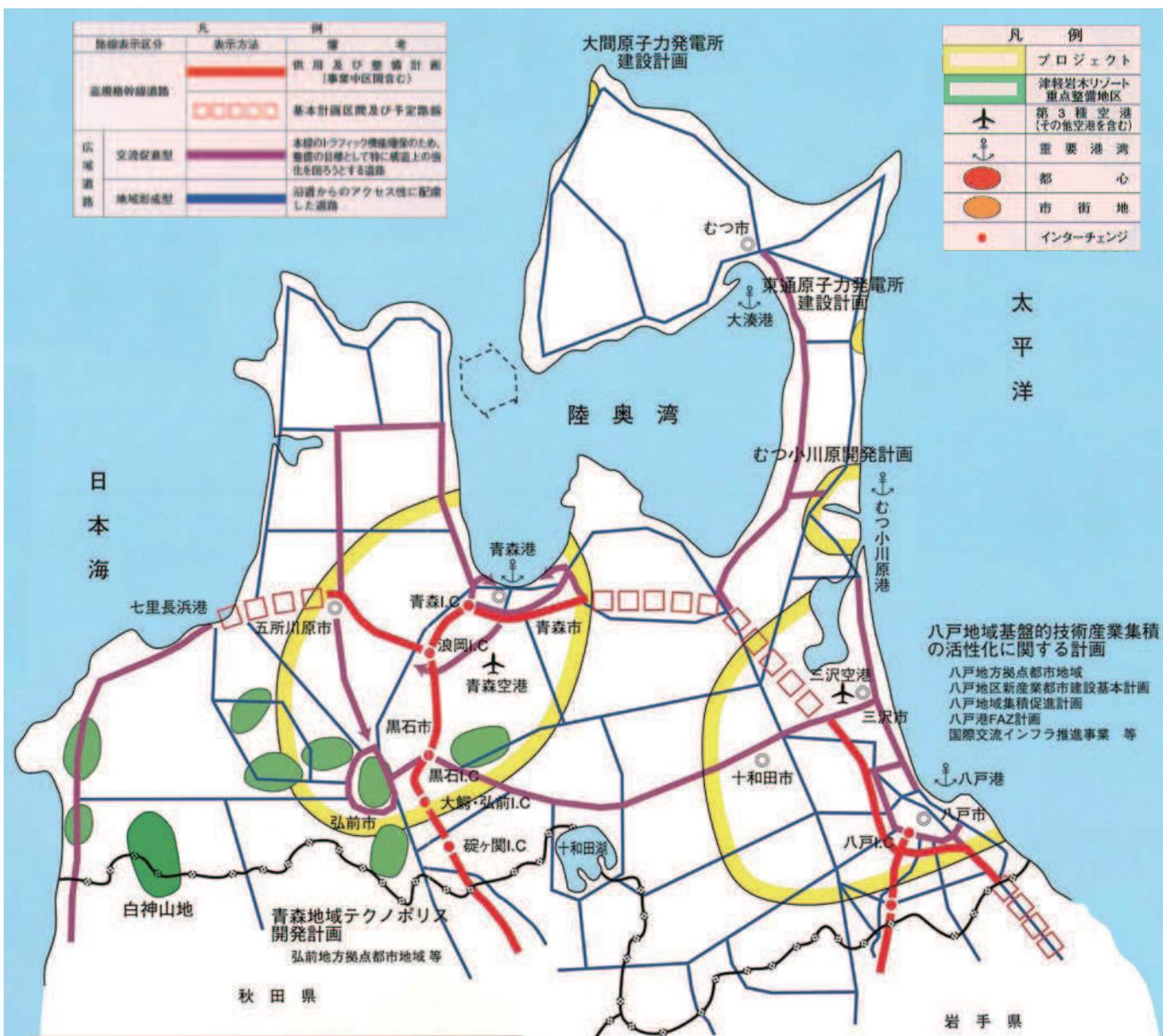
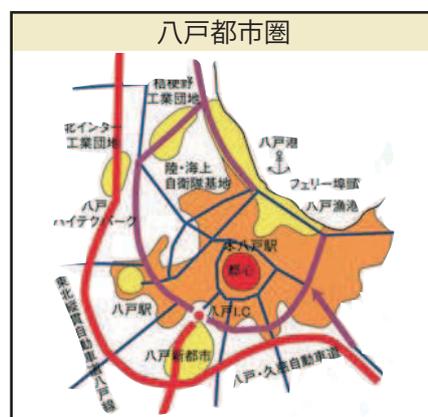
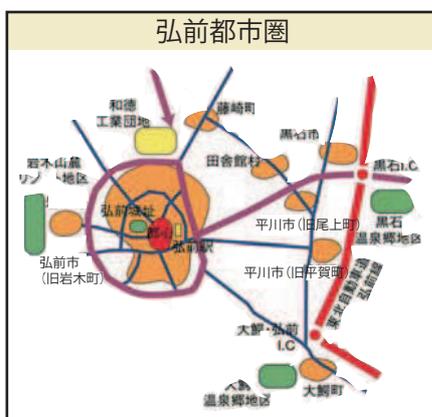
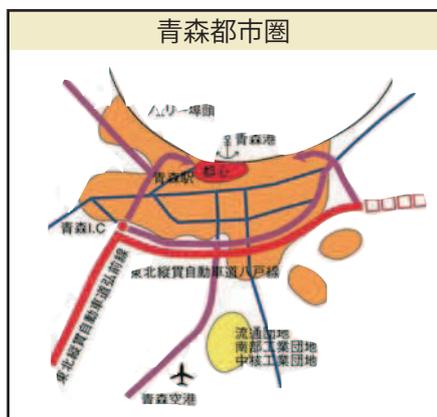


津軽自動車道（鱒ヶ沢道路）

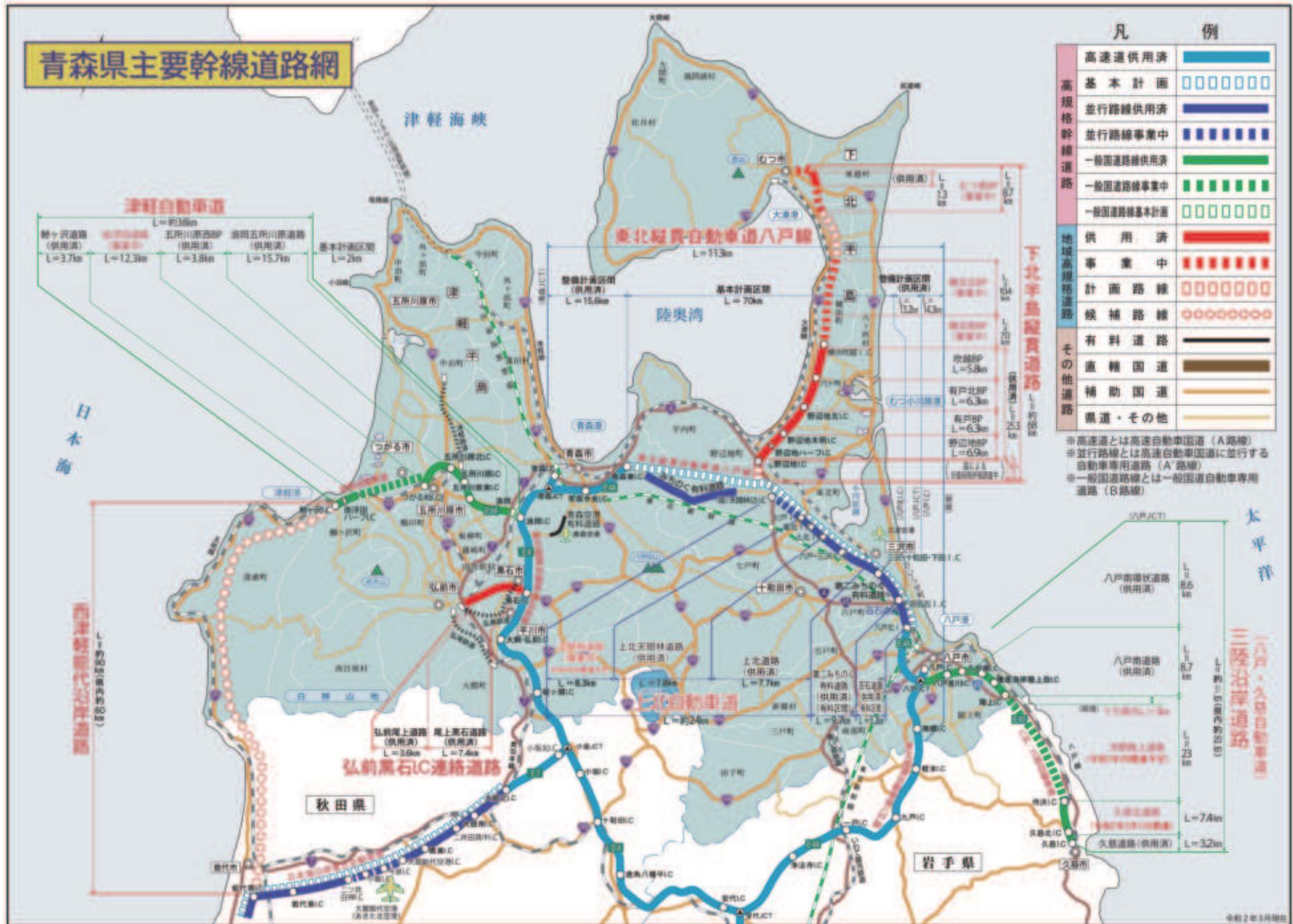


上北自動車道（上北道路）

青森県広域道路網マスタープラン



※上記は今後の道路整備のマスタープランであり、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。



青森のこれまでのみちづくり

普段、私たちが何気なく使っている道路は、古くは街道や隧道などといった時代から、交流、流通などの重要な施設として、その役割を担ってきました。私たちは先人の残したみちづくりの形跡を振り返り、その情熱を受け継ぎ、新たな道づくりに反映したいと考えています。

- 大正 9年 ● 第1次道路改良整備計画策定 (8月10日)
- 昭和23年 ● 本格的道路改良工事実施 (青森三本木線・蟹田小泊港線)
- 昭和26年 ● 蓬莱橋竣工 (戦後初の永久橋)
- 昭和29年 ● 第1次道路整備五カ年計画
- 昭和32年 ● 青森県でガードレールを初めて採用
- 昭和34年 ● 十三橋開通
- 昭和35年 ● 日本初のスノーシェッド (大釈迦) 完成
- 昭和43年 ● 十和田湖おいらせライン開通。かもしかライン開通
● 日本初の海水利用消雪パイプ設置 (青森停車場線)
- 昭和44年 ● 八甲田大橋完成
● うみねこライン全線完成
● さるかガーデンライン全線完成
● 津軽よされライン全線舗装完成
- 昭和45年 ● 津軽大橋完成
● むつはまなすライン全線舗装完成
● 西十和田いで湯ライン全線舗装完成
- 昭和46年 ● 青函トンネル起工式
- 昭和47年 ● 十和田ゴールドライン全線舗装完成
- 昭和48年 ● 白萩ライン全線舗装完成
- 昭和49年 ● 国道101号全線舗装完成
● 八戸港線新湊橋完成
- 昭和51年 ● やまなみライン全線舗装完成
● 八戸大橋開通
● 津軽中山ライン全線舗装完成
● 津軽あすなろライン全線舗装完成
- 昭和52年 ● 青森浪岡線全線舗装完成
- 昭和53年 ● 海峡ライン開通
- 昭和54年 ● 東北縦貫自動車道 (大鰐・弘前IC～青森IC間) 開通
● 十三湖大橋架替完成
- 昭和55年 ● みちのく有料道路開通
● 東北縦貫自動車道弘前線 (碓ヶ関IC～大鰐・弘前IC間) 開通
- 昭和59年 ● 竜泊ライン全面開通
- 昭和60年 ● 青森中央大橋有料道路開通
● 青函トンネル本坑貫通
- 昭和61年 ● 東北縦貫自動車道弘前線全面開通 (県内分)
● 東北縦貫自動車道八戸線 (一戸IC～八戸IC間) 開通
- 昭和62年 ● 新青森空港開港
● 青森空港有料道路開通
● 青函トンネル開通
● 第二みちのく有料道路着工
- 昭和63年 ● 竜泊ライン全面舗装
- 平成元年 ● 東北縦貫自動車道八戸線 (安代JCT～一戸IC間) 開通
- 平成 2年 ● 国道280号 (塩越バイパス) 完成
- 平成 3年 ● 津軽自動車道 (浪岡町～五所川原市)、八戸・久慈自動車道 (八戸市根城～妙) 整備計画区間に格上げ

- 平成 3年 ● 津軽自動車道着工 (県事業)
● 八戸・久慈自動車道着工
● 国道338号 (牛滝～野平バイパス) 完成
● (主) 夏泊公園線 (浅所工区) [新雷電橋] 完成
- 平成 4年 ● 国道103号、394号追加指定
● 第二みちのく有料道路開通
- 平成 5年 ● 第11次道路整備五箇年計画発足 (76.0兆円)
● 津軽自動車道が国直轄事業へ移行
● 国道7号古川跨線橋全面開通 (直轄事業)
● 国道280号内真部バイパス完成
- 平成 6年 ● 地域高規格道路候補路線として西津軽能代沿岸道路
が、計画路線として下北半島縦貫道路 (国道279号)・
弘前黒石IC連絡道路 (国道102号) が指定
● 国道338号 (鷹架バイパス) 完成
- 平成 7年 ● 下北半島縦貫道路 (有戸北バイパス)、弘前黒石IC連
絡道路が調査区間に指定
● 下北半島縦貫道路 (野辺地バイパス・有戸バイパス)
が整備区間に指定
● 国道279号 (正津川バイパス) 完成
● 国道394号 (城ヶ倉バイパス) [城ヶ倉大橋] 完成
● (主) 八戸百石線 (開運橋) [4車拡幅] 完成
- 平成 8年 ● 国道101号大和田橋 (鯉ヶ沢バイパス) 完成
● (主) 八戸三沢線 (尻内橋) 完成
● (一) 大泉姥滝線 (栄橋) 完成
● (一) 鶴田五所川原自転車道線完成
● 弘前黒石IC連絡道路 (弘前尾上道路) が整備区間に指定
- 平成 9年 ● 国道102号 (奥入瀬バイパス) 完成
● 国道103号 (横内バイパス) 完成
● 国道338号栗山大橋 (むつバイパス) 完成
● 国道339号 (鶴田～五所川原バイパス) 完成
● (主) 八戸環状線 (沢里工区) [沢里橋] 完成
● (主) 鯉ヶ沢蟹田線 (やまなみトンネル) 完成
～交流ふれあい事業～
- 平成10年 ● 新道路整備五箇年計画発足 (78.0兆円)
● 弘前黒石IC連絡道路 (尾上黒石道路) が整備区間に指定
● 下北縦貫道路 (吹越バイパス) が調査区間に指定
● 国道102号 (葛川バイパス) 完成
● (一) 弘前平賀線 (新大豊橋) 完成～交流ふれあい事業～
- 平成11年 ● 下北半島縦貫道路 (むつ南バイパス) が調査区間に、(有
戸北バイパス) が整備区間に指定
● 国道102号弘南大橋 (弘前尾上道路) 完成
● 国道340号八戸拡幅 (電線共同溝) 完成
● (主) 鯉ヶ沢蟹田線 (大平～今泉工区) 完成
- 平成12年 ● 八戸・久慈自動車道 (八戸市～階上町) が整備計画区間
に格上げ
● 国道102号 (弘前尾上道路) 完成

■青森県の道路ベスト5

橋梁延長ランキング・ベスト5 R1.12.31 現在								
橋名	路線名	位置	河川名等	橋長(m)	幅員(m)	供用年	形式	
1	八戸大橋	(臨)白銀北沼線	八戸市 八戸港	1,323.7	19.5	S51	鋼箱桁橋	
2	青森ベイブリッジ	(臨)2号線	青森市 青森港	1,219.0	25.0	H4	PC斜張橋	
3	青森高架橋	国道7号	青森市 JR津軽線他	993.8	10.0	S47	単純PCポス テンT桁等	
4	きさるこざわ 猿子沢大橋	国道338号	六ヶ所村 老部川	675.0	16.8	H15	鋼板桁橋	
5	沼館大橋	(市)沼館下長線	八戸市 馬淵川	641.0	19.8	H22	PC箱桁橋	



- 平成12年
 - 国道339号（小泊山Ⅱ・Ⅲ期拡幅）完成
 - 国道394号（南中野バイパス）完成
 - 国道338号（むつバイパス）完成
 - 国道280号（内真部～蓬田バイパス）部分供用
 - 国道102号（豊岡バイパス）完成
 - 主要地方道大鰐浪岡線（大坊～吹上）完成
 - 一般県道弘前平賀線（新里～大光寺）完成
- 平成13年
 - 本省再編（国土交通省）スタート
 - 県組織改革（県土整備部道路課）スタート
 - 国道280号（野田バイパス）完成
 - 国道339号（釜泊Ⅱ期拡幅）完成
 - 主要地方道三沢十和田線（七百バイパス）部分供用
 - 一般県道福山五所川原線（石岡バイパス）完成
- 平成14年
 - 県組織改革（県土整備事務所スタート）
 - 国道101号（鯉ヶ沢バイパス）完成
 - 国道280号（内真部～蓬田バイパス）完成
 - 一般国道338号（尾駈バイパス）完成
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（東目屋バイパス）部分供用
 - 主要地方道五所川原浪岡線（花岡大橋）完成
 - 主要地方道五所川原岩木線（高杉バイパス）完成
 - 一般県道関ヶ平五代線（岩木蕎麦）完成
 - 津軽自動車道（浪岡IC～五所川原東IC）完成
- 平成15年
 - 県組織改革（庁内グループ制スタート）
 - 東北縦貫自動車道八戸線（岩渡～諏訪沢）完成
 - 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）が整備区間に指定
 - 主要地方道十和田三沢線（滝沢～戸来工区）完成
 - 一般県道小友板柳停車場線（津軽りんご大橋）完成
 - 都市計画道路白銀市川環状線及び主要地方道八戸三沢線（碓田～上市川工区）完成
- 平成16年
 - 八戸・久慈自動車道（八戸は川IC～八戸南IC）完成
 - 弘前黒石IC連絡道路（尾上黒石道路）完成
 - 下北半島縦貫道路（有戸バイパス）完成
 - 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）部分供用
 - 鯉ヶ沢蟹田線（菟槌工区）完成
 - 五戸下田停車場線（三本木工区）完成
 - 東北縦貫自動車道八戸線（青森自動車道 救急車退出路）供用
- 平成17年
 - 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス）完成
 - 主要地方道青森浪岡線（高田バイパス）完成
 - 弘前環状線（清瀬橋）完成
 - 八戸環状線（市川町工区）完成
 - 都市計画道路下白銀町福村線 暫定2車線供用
- 平成18年
 - 一般国道103号（宇樽部バイパス）完成
 - 一般国道454号（正法寺バイパス）完成
 - 一般国道454号（扇田バイパス）完成
 - 主要地方道八戸野辺地線（市川Ⅱ工区）完成
 - 都市計画道路下白銀町福村線（完成）
 - 主要地方道青森浪岡線（青森空港立体駐車場）全面供用
- 平成19年
 - 県組織改革（全域で地域県民局スタート）
 - 八戸・久慈自動車道（八戸南IC～種差海岸階上岳IC）完成
 - 国道101号（追良瀬バイパス）完成
 - 国道101号（田野沢バイパス）完成
 - 国道338号（大間バイパス）完成
 - 国道339号（板柳バイパス）完成

- 主要地方道岩崎西目屋弘前線（ダムサイト迂回路）完成
- 下北半島縦貫道路（野辺地バイパス救急車退出路）供用
- 津軽自動車道（五所川原東IC～五所川原北IC）完成
- 主要地方道青森田代十和田線（法量工区）完成
- 平成20年
 - 下北半島縦貫道路（吹越バイパス）が整備区間に指定
 - 主要地方道弘前柏線（桑野木田工区）完成
 - 国道339号（五所川原北バイパス）完成
 - 主要地方道八戸三沢線（張田Ⅱ期バイパス）完成
 - 国道338号（宇曾利バイパス）完成
 - 都市計画道路弘前黒石線完成
 - 主要地方道弘前岳鯉ヶ沢線（宮地工区）完成
- 平成21年
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（村元工区）完成
 - 一般県道桑野木田南広森線（柴田工区）完成
 - 主要地方道川内佐井線（佐井工区）完成
 - 国道340号（泥障作Ⅱ期バイパス）完成
 - 都市計画道路犬落瀬金矢線完成
- 平成22年
 - 国道101号（北金ヶ沢バイパス）完成
 - 主要地方道大鰐浪岡線（乳井工区）完成
 - 国道338号（長後バイパス）完成
 - 主要地方道青森環状野内線（細越バイパス）完成
 - 一般県道南部田子線（道ノ上工区）完成
 - 国道280号（蓬田～蟹田バイパス）Ⅰ期工区完成
 - 一般県道松野木姥苅線（福岡工区）完成
 - 主要地方道大鰐浪岡線（アップル大橋）完成
 - 都市計画道路弘前宮地線完成
- 平成23年
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（村市バイパス）完成
 - 都市計画道路内環状線（石江工区）完成
- 平成24年
 - 下北半島縦貫道路（有戸北バイパス）完成
 - 主要地方道夏泊公園線（浦田～茂浦工区）完成
 - 国道338号（白糠バイパスⅠ期工区）完成
- 平成25年
 - 国道45号（八戸南道路）完成
 - 国道45号（上北道路）完成
 - 下北半島縦貫道路（横浜南バイパス）が整備区間に指定
- 平成26年
 - 主要地方道八戸環状線（糠塚工区）完成
 - 国道45号（八戸南環状道路）完成
 - 主要地方道岩崎西目屋弘前線（津軽ダム付替）全線完成
 - 国道339号（五所川原北バイパス）部分供用
 - 主要地方道青森浪岡線（ハツ役工区）完成
 - 津軽自動車道（五所川原西バイパス）完成
- 平成27年
 - 都市計画道路白銀市川環状線（中居林工区）完成
 - 国道454号（豊間内工区）完成
 - 主要地方道五所川原岩木線（掛落林工区）完成
 - 一般県道常海橋銀線（上常海橋～福館工区）完成
- 平成28年
 - 下北半島縦貫道路（横浜北バイパス）が整備区間に指定
 - 国道101号（鯉ヶ沢道路）部分供用
 - 都市計画道路中央町金矢線完成
 - 主要地方道東北横浜線（室ノ久保工区）完成
- 平成29年
 - 国道280号（蓬田～蟹田バイパス）部分供用
 - 下北半島縦貫道路（吹越バイパス）完成
- 平成30年
 - 国道394号（榎林バイパス）部分供用
 - 国道45号（上北天間林道路）完成
 - 津軽自動車道（鯉ヶ沢道路）完成
- 平成31年（令和元年）
 - 下北半島縦貫道路（むつ南バイパス）部分供用

トンネル延長ランキング・ベスト5 R1.12.31 現在

	トンネル名	路線名	地名	延長	車道幅員/有効高	建設年次
1	みちのく	後平馬屋尻線	七戸町	3,178.0m	6.5/4.7m	S55
2	坂梨	東北縦貫自動車道	平川市	1,502.0m*	7.0/4.5m	S61
3	泊・白糠	国道338号	六ヶ所村 東通村	1,237.0m	6.0/4.7m	H24
4	宇樽部	国道103号	十和田市	1,145.0m	6.5/4.6m	H18
5	是川	国道45号 (八戸南環状道路)	八戸市	973.0m	7.0/4.7m	H25

*全長4,265.0mの内、青森県分（1,502.0m）、秋田県分（2,763.0m）

みちのくトンネル



■ホームページ・携帯サイトでの情報提供

青森県幹線道路協議会とNPO法人青森ITSクラブが連携し、青森県内の道路に関する各種情報を『青森みち情報』という名前で情報提供しています。安全に道路を利用して頂くための参考情報としてパソコン・携帯でご活用下さい。

○ 青森の道路情報満載サイトでござらる！ ○

以下のサイトでご覧になれます！ <http://www.koutsu-aomori.com>

青森県道路情報サイト

みち情報

当ホームページは、安全に道路を利用して頂くための参考情報として、青森県内の規制情報やライブカメラによる道路状況を提供するためのものです。道路状況は気象により急変することもありますので、十分注意して運転してください。

提供：青森県幹線道路協議会
運営：NPO法人青森ITSクラブ

トップページへ お知らせ 県内の道路情報 通行規制(工事) 公共交通情報 気象情報 リンク

緊急規制情報(通行止め)

※災害や雪による緊急の通行止めが発生した場合に信号が点滅します。予め予定されている工事規制や冬期間等は反映されません。
※通行止めが1週間程度以上継続した場合、信号の点滅は解消されます。

※この情報について 06月11日11時31分 現在 [更新](#)

通行止め **通行止め** **通行止め**

現在の警報・注意報

平成30年6月10日 10時23分 現在

	警報			注意報		
	大雨	洪水	暴風	大雨	洪水	強風
東青津館						
北五津館						
西津館						
中津館						
下北						
三八						
上北						

※全ての警報・注意報をご覧になりたい時は [こちら](#)

■ 県内の気象情報

主な提供情報

- 青森県内の国道・県道においての雪や災害による緊急規制(通行止め)情報
- ライブカメラ情報
- 渋滞情報(青森市、弘前市、八戸市)
※(公財)日本道路交通情報センター
- 公共交通情報
(バス、鉄道、航空、フェリーなど)
- 気象情報(青森県内の警報・注意報)
- 冬期閉鎖路線情報
(冬期間のみ提供しております。)

○ 青森の道路情報満載サイトでござらる！ ○

ケータイ、スマートフォンからご覧になれます！

青森みち情報

- 概要
- 緊急規制情報
- 警報・注意報
- 渋滞情報
- ライブカメラ
- 道路状況
- 道路規制・工事情報
- 道路規制解除情報
- 道路時刻表
- 高速の料金情報
- バス運行情報
- 高速の相談室

◆東北地方整備局
ト東北みち情報
ト青森河川国道事務所
◆東日本高速道路
トドラふら
トドライビングウェザー

—MENU

みち情報

お知らせ 緊急規制情報 警報・注意報 渋滞情報

ライブカメラ 通行規制情報 道路状況情報 冬期情報

公共交通情報 河川情報 防災情報 観光情報

ご利用案内 著作権・リンク リンク集

提供：青森県幹線道路協議会
運営：NPO法人青森ITSクラブ

- ケータイ
<http://aomori.cc/road/>



- スマートフォン
<http://aomori.cc/road/sp/>



■道路に関する情報提供（雪道安全マップ）

雪道安全マップとは・・・

冬期間閉鎖になる道路の情報や、雪道走行の注意点、除雪に関する問い合わせ先などが掲載されている冬には欠かせないマップです。

○ 雪道安全マップ紹介サイト ○

以下のサイトでご覧になれます！

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/yukimitianzen-map.html>



■青森県の橋梁アセットマネジメント事業

○ 橋梁アセットマネジメント事業紹介サイト ○

以下のサイトでご覧になれます！

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/kyouryou-asset.html>



親しみやすい潤いのある交流の場



「道の駅」は、鉄道の駅があるように、一般道路にも駅を。そんな発想から生まれました。

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び、活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」の、3つの機能を併せ持つ休憩施設です。

青森県内では、令和元年12月までに28駅が登録されています。



道路管理体制

区分	名称	管理主体
高速自動車国道	東北縦貫自動車道	東日本高速道路(株)東北支社が管理しています。
一般国道	指定区間(国道4号、7号、45号、101号の一部、104号の一部)	国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所が管理しています。
	国道101号(一部)、102号、103号、104号(一部)、279号、280号、282号、338号、339号、340号、394号、454号 計12路線	青森県が管理しています。
県道	主要地方道47路線	青森県が管理しています。
	一般県道185路線	
有料道路	みちのく有料道路	青森県道路公社が管理しています。
	第二みちのく有料道路	
	青森空港有料道路	
市町村道	33,741路線	各市町村が管理しています。

道路緊急ダイヤル #9910

道路の異常を発見したら、**24時間受付**へ、ご連絡ください。

通報は、無料です。

- 異常箇所特定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認致しますようお願い致します。
- 県管理の道路等については、夜間・土・日・祭日は対応出来ない場合もあります。
- 事故情報は、警察(110番)へ連絡してください。
- 道路交通法により運転中の通話は禁止されています。安全な場所に停車しておかけください。
- ダイヤル式電話ではご利用できません。

通報の仕方

- 1 道路の異常を発見したら、緊急通報ダイヤルへ通報してください。
- 2 通報後、道路の状況を確認し、必要に応じて通行止めを行います。



青森県 県土整備部 道路課

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号

TEL:(代表)017-722-1111 FAX:017-734-8189

●青森県ホームページ: <http://www.pref.aomori.lg.jp>

●道路課ホームページ:

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/>

●道路課 e-mail: doro@pref.aomori.lg.jp